

令和3年度第3回青森市社会教育委員会議定例会議 会議概要

- 1 日時： 令和4年3月28日（月）13時30分～14時45分
- 2 会場： 青森市役所柳川庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者： 棟方梢議長、石澤千鶴子委員、小笠原秀樹委員、川村隆義委員、高橋隆子委員、
滝口小百合委員、常田清彦委員、蒔苗礼子委員、今別浩司委員

事務局： 教育部長 小野正貴

文化学習活動推進課長	:	杉山 潔
参事・文化財課長事務取扱	:	葛西俊一
中央市民センター館長	:	坂牛 裕
市民図書館長	:	伊藤慶尚
指導課長	:	角田 毅
浪岡教育課長	:	石村 淳

4 次第

- (1) 開会
- (2) 議題等
 - ①令和4年度社会教育関係事業（教育委員会所管）について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 主な質疑応答、意見等

(2) ①令和4年度社会教育関係事業（教育委員会所管）について

<成人式>

- ・各中学校の先生方の負担が増えないように工夫して開催してほしい。
⇒参加者のアンケート結果やコロナウイルスの先行きが不透明な点などを勘案し、分散開催とした。学校の負担がなくなるわけではないが、出来るだけ軽くなるよう取り組んでいきたい。
- ・いろいろな人たちの力を借りて成人式を実施したのが現状。負担といえば負担だが、卒業した子たちと一緒にやれる喜びもあった。要望として、各校一律で経費が支給されているが、150人いる学校も20人の学校も同じにするのではなく、見直しを検討してもらいたい。
- ・分散開催についてアンケート結果では評判が良かったとのことだが、実際の声を聴いてみれば、文化会館でやりたかったという声も多くあった。
- ・駐車場係や受付として保護者が手伝うなど慣れない作業もあったが、人数も少なくスムーズに開催できた。当時の担当の先生が特別にメッセージを用意してくれ、子どもたちにとってはサプライズとなったり、とても良かった。久しぶりに会えてよかったと感じた。

<コミュニティ・スクール>

- ・コミュニティ・スクールの活動をより多くの市民に認知してもらえる工夫をしてほしい。

⇒市として広報誌で周知するだけでなく、継続的に広報に努めていく。

<生涯学習支援事業>

- ・市民の居場所として、新型コロナウイルス感染症対策の状況下であっても、予防対策を工夫して市民センターの開放を望んでいる。ネットだけではなく、人と人とのつながりを望んでいる人たちも多くいると思う。

<いじめ防止対策総合推進事業>

- ・令和3年度に比べ令和4年度予算が150万円ほど減額になっているのはなぜか。
⇒ラインでの相談からクロームブックでの相談に切り替えた分の予算減であり、事業縮小したものではない。

<その他>

- ・図書ボランティアの方からの話で、読み聞かせのため県立図書館から本を借りていたがコロナで休館となり本を借りられなかった。学校の本でなく、別のものを借りて読み聞かせをしているのだが、そういったときに相談など受けしてもらえるのか。
⇒貸出も可能。希望の書籍の検索や紹介も可能。個別に相談していただきたい。